

教科	技術・家庭科（技術分野）	学年	第 3 学年	担当者	品田 直毅
----	--------------	----	--------	-----	-------

[教科目標]

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

[使用教科書・教材等]

教科書 「新編 新しい技術・家庭（技術分野）東京書籍」

[学習計画]

学期	単 元 名	学 習 の ね ら い （身につけたい力）	準備物
1 学 期	生活の中での機械 ・動きを伝達する仕組み ・リンク装置を活用した動くおもちゃ ・機器に使われている部品 ・製作（往復スライダクランク機構）	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中での機械の役割がわかる。 機械の動くしくみがわかる。 リンク装置を用いて工夫して作品を作ることができる。 作業の見通しをもって、意欲的に作品を作ることができる。 生活の中でのエネルギー利用と現状、環境に関わる現状がわかる。 	教科書 ノート ファイル
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 製作（てこクランク機構） エネルギーの変換と利用 <ul style="list-style-type: none"> 電気の安定供給 電気エネルギーの変換と利用 生活の中の電気 電気の安全な使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 電力や定格など、生活の中での安全な電気の使い方がわかる。 電気による事故を防止するしくみや安全に使う方法を身につける。 電気工具を使用して、安全に正確に製品を作ることができる。 	教科書 ノート ファイル
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 電気の安全な使い方 製作 	<ul style="list-style-type: none"> 電気の発電の現状と課題がわかる。 電気の利用の仕方がわかる。 ニップやドライバ、はんだごて等の使用方法について実習を通して理解する。 エネルギーの有効利用について知る 	教科書 ノート ファイル

[評価の観点と評価の方法]（通知表のつけ方）

評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し創造する能力 25%	生活の技能 25%	生活や技術についての知識・理解 25%
評価の観点の趣旨	授業参加や提出物の内容等、より高い目標を設定して努力しているかどうかをみる。	生活を振り返りながら課題を発見し、その課題を解決しようと積極的に授業に取り組もうとしているかをみる。	学習したことに基づき、適切に判断し実践できるかどうかをみる。	学習の内容を整理し、定着しているかどうかをみる。
評価の方法	授業の準備 発表等の授業態度 提出物（ノート・ワークシート・作品等）	発表等の授業態度 提出物（作品・ワークシート等）	提出物（ワークシート・作品） 実習態度	定期考査 提出物（ノート・ワークシート）

[授業の受け方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

- ・教科書・ノート・準備物を忘れず、授業に集中できる態勢を自分で作りましょう。
- ・質問や考えたことを積極的に発言して、授業内容の理解を確かなものにしましょう。
- ・ワークシートやレポート・作品の提出期限を守りましょう。
- ・黒板に書いてあること以外に、他の人の言ったことや先生の説明をメモするなどノートの取り方を工夫し、分かりやすいノートを作りましょう。
- ・正確に工具やしくみ等を使って作品が完成できるように根気よく取り組みましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・実際に授業で学んだことを生かして、普段から家庭生活の中で手伝い等しながら体験的に理解を深めていきましょう。
- ・社会で起こる家庭や家族にかかわる出来事について関心を持ち、それらについて自分の考えをまとめ、授業についてより理解を深め、よりよい生活ができる知識を身につけましょう。